

高校生がアート作品で
地元の歴史を語り継ぐ

熊野高等学校 芸術類型の生徒が 御神木奉納額を制作し、熊野町榊山神社に奉納します ～御神木プロジェクト：伐採された樹齢800年の御神木を後世に～

昨年5月に、熊野町榊山神社の拝殿を落雷から守ったとされる樹齢800年の御神木が伐採されました。その大木の存在を後世に伝えようと、本校芸術類型美術コースの生徒が地元の宮大工棟梁さんの力を借りて、製材・額縁を施した板のキャンパスに絵を描き、書道コースの生徒が書いた書の文字入れをしました。できあがった縦約1.2メートル、横約1.5メートルの巨大な額が、奉納奉告祭及び奉納セレモニーにて、本校音楽コースの生徒による演奏のもと、奉納されます。

- 1 式の名称 御神木奉納額奉納奉告祭及び奉納セレモニー（主催：榊山神社）
- 2 実施日 令和7年4月23日（水） 16時～（雨天決行）
- 3 場 所 安芸郡熊野町榊山神社
安芸郡熊野町中溝5丁目1-13
- 4 参加者 熊野高等学校芸術類型（美術・書道・音楽コース）生徒 及び 本校教員
熊野町長、熊野町教育委員会教育長
- 5 内 容 (1) 奉納奉告祭
(2) 奉納セレモニー
奉納額除幕
榊山神社宮司挨拶
熊野町長挨拶
熊野高等学校長挨拶
熊野高等学校生徒代表挨拶
(3) 額の設置
- 6 その他 取材を希望される場合は、事前に、熊野高等学校まで連絡してください。

